

---

# 2015年6月期 決算補足説明資料

---

2015年8月14日  
リアルコム株式会社

(東証マザーズ：3856)

# ご留意事項

- 本資料は、当社グループの経営成績及び財政状態に関して、適切な理解を促進することを目的としたものであり、当社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。投資に際しては、投資家様ご自身のご判断において行われますようお願いいたします。
- 本資料の作成に際し、当社グループは細心の注意を払っておりますが、記載した情報に誤りがあった場合や、第三者によるデータの改ざん等によって生じた障害等に関し、事由の如何を問わず一切責任を負うものではありません。
- 本資料に記載された内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。従って、その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。
- 今後、新しい情報や事象の発生等があった場合でも、当社グループは、本資料に掲載された内容の更新等を実施する義務を負うものではありません。
- 本資料に記載された全ての数値、指標等が監査法人による監査又はレビューの対象ではない点にご留意ください。

1

2015年6月期 連結決算概要

2

2016年6月期 業績予想概要

3

当社株式の取扱いの見通し

4

参考資料

# 2015年6月期 連結業績の概要

売上高、営業利益及び経常利益ともに2桁増収増益で着地、上場来過去最高を更新。繰延税金資産の減少により法人税等調整額が増加し、当期純利益は前期比減少。事業規模拡大のための人員増等を主因とする販管費増加により、予想利益は未達。

(単位：百万円)	14/6期	15/6期	前期比	通期予想 (2/13公表)	達成率 (%)
売上高	3,346	4,396	+31.4%	4,133	106.3%
売上総利益	737	1,080	+46.5%	1,026	105.3%
販管費	473	660	+39.3%	574	115.0%
営業利益	263	420	+59.5%	452	93.0%
(利益率)	7.9%	9.6%	+1.7%	10.9%	-
経常利益	240	339	+40.9%	372	91.1%
(利益率)	7.2%	7.7%	+0.5%	9.0%	-
当期純利益	234	199	▲14.8%	259	77.0%
(利益率)	7.0%	4.5%	▲2.5%	6.3%	-

\*通期予想の売上総利益及び販管費については未公表であるものの、業績の適切な理解を促進するため、便宜上表記しております。

# セグメント別業績の概要

太陽光発電市場の活況が続く中、好調なソーラーシステム販売やEPCサービス\*が牽引する一方、積極的な原価改善の努力が奏功し、ソーラー事業の営業利益はほぼ倍増で躍進。建機事業は、新車販売が2倍以上伸長するも仕入価格上昇により利益率低減。

(単位：百万円)	14/6期	15/6期					前期比
		上期	3Q	4Q	下期	通期	
売上高	3,346	1,788	1,319	1,288	2,607	4,396	+31.4%
ソーラー事業	2,349	1,294	1,071	1,089	2,160	3,454	+47.0%
建機事業	738	402	211	174	385	788	+6.8%
IT事業	259	91	36	25	61	153	▲40.9%
営業利益	263	117	149	153	302	420	+59.5%
ソーラー事業	271	156	185	198	383	539	+98.9%
(利益率)	11.5%	12.1%	17.3%	18.2%	17.7%	15.6%	+4.1%
建機事業	74	16	8	12	20	36	▲51.4%
(利益率)	10.0%	4.0%	3.8%	6.9%	5.2%	4.6%	▲5.5%
IT事業	84	28	7	(7)	(0)	28	▲66.7%
(利益率)	32.4%	30.8%	19.4%	▲28.6%	▲0.4%	18.3%	▲14.1%
調整額**	(166)	(84)	(51)	(49)	(100)	(184)	-

\* EPCサービスとは、設計 (engineering)、調達 (procurement)、建設 (construction) を含む、太陽光発電設備建設プロジェクトの建設工事請負サービス。

\*\* 調整額は当グループ会社間の経営指導料等を含みます。

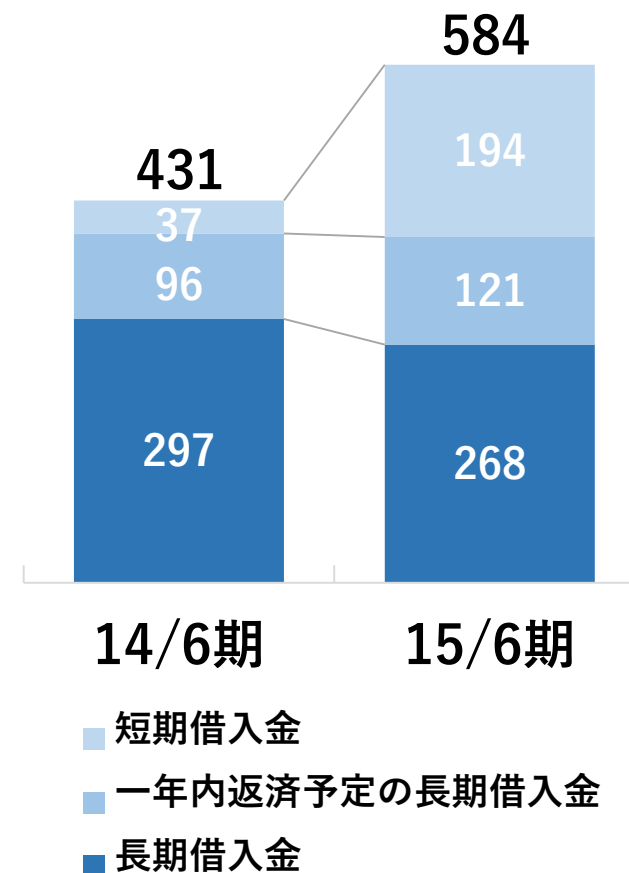
# 連結貸借対照表の推移

足元の好調な販売を背景に、大幅に商品在庫を削減する一方、将来の収益源となる発電設備の設置工事請負に伴う仕掛品等の残高増加。業績拡大基調により総資産が増加するものの、自己資本比率40%超として強固な財務基盤を維持。

(単位：百万円)	14/6期	15/6期	前期比
流動資産	1,715	2,092	+22.0%
現金及び預金	494	406	▲17.8%
受取手形及び売掛金	408	524	+28.5%
商品	611	263	▲56.9%
販売用不動産	-	332	-
仕掛品	1	336	+24118.3%
固定資産	357	438	+22.6%
総資産	2,072	2,530	+22.2%
流動負債	821	1,127	+37.3%
固定負債	385	360	▲6.5%
自己資本	863	1,038	+20.3%
自己資本比率	41.7%	41.0%	▲0.6%

## 有利子負債の推移

(単位：百万円)



1

2015年6月期 連結決算概要

2

2016年6月期 業績予想概要

3

当社株式の取扱いの見通し

4

参考資料

# 2016年6月期 業績予想の概要

引き続き、ソーラーシステム等好調な販売やEPCサービスの受注増加が見込まれるものの、保守的に計画を見込む。ソーラー事業において主力案件を下期に控えていることから、下期偏重による収益を見込む。ソーラーシステムの拡販に伴い、継続的に保守メンテナンスサービス事業の拡大を見込む。

(単位：百万円)	15/6期	16/6期			前期比
		上期予想	下期予想	通期予想	
売上高	4,396	1,852	2,660	4,512	+2.6%
売上総利益	1,080	475	713	1,188	+9.9%
営業利益	420	128	310	438	+4.2%
経常利益	339	85	268	353	+4.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	199	51	160	211	+5.6%



1

2015年6月期 連結決算概要

2

2016年6月期 業績予想概要

3

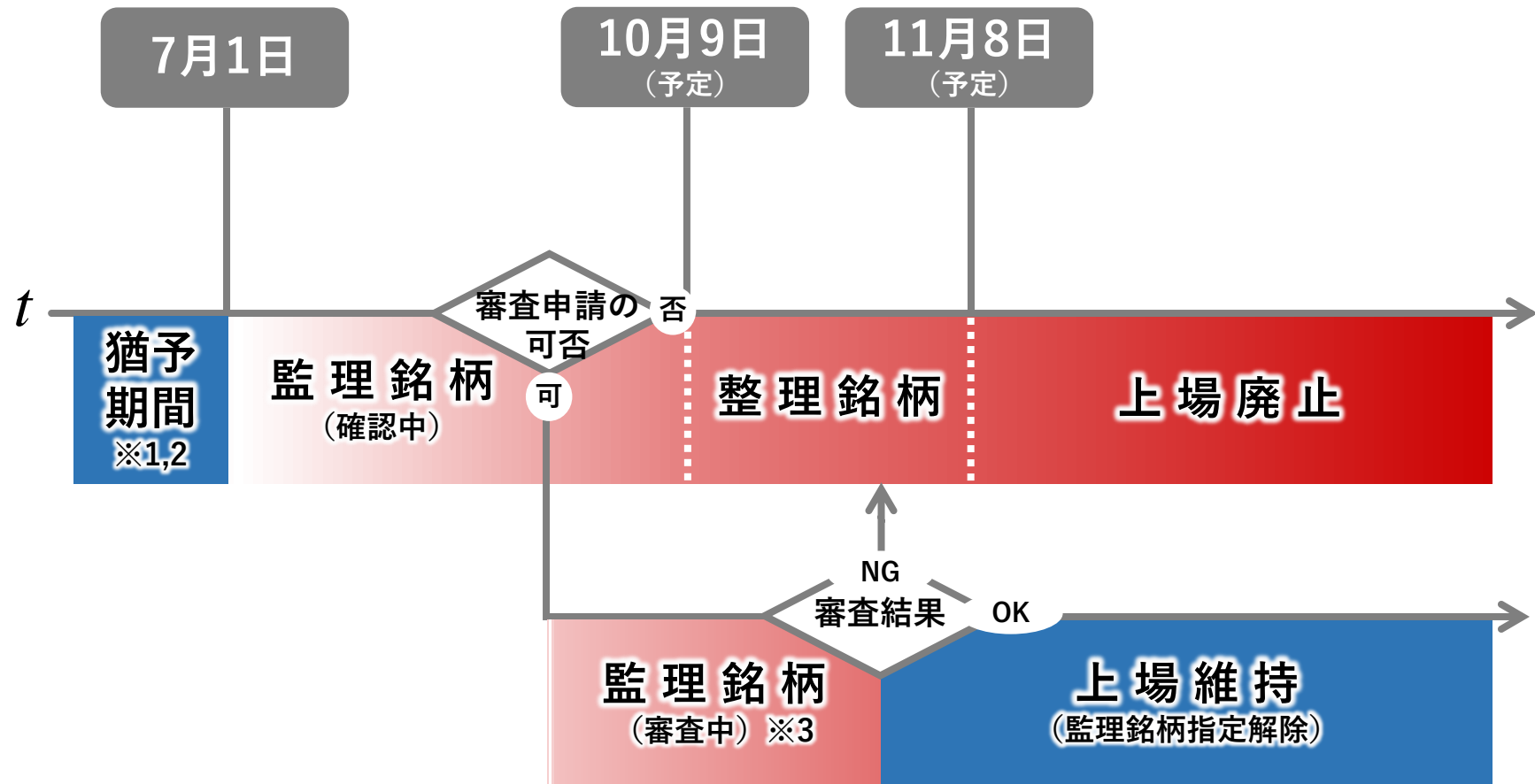
当社株式の取扱いの見通し

4

参考資料

# 当社株式の取扱いの見通し（6/30公表）

7月1日付で「監理銘柄(確認中)」に指定。上場再審査クリアのため、引き続き幹事候補証券会社の指導の下、積極的に取り組んで参ります。



※1 「新規上場審査基準に準じた基準に適合しているかどうかの審査を受けるための猶予期間」を意味し、2011年11月29日～2015年6月30日。

※2 リアルコム株式会社とWWB株式会社が株式交換し、WWBがリアルコムの完全子会社となったものの、東京証券取引所が株式交換後のリアルコムにつき「実質的な存続会社」である点疑義があったため、再審査手続きに至った。

※3 監理銘柄（審査中）の指定期限は、「東証が上場基準に適合するかどうかを認定した日まで」、したがって審査結果公表期限は11月8日に限らない。

1

2015年6月期 連結決算概要

2

2016年6月期 業績予想概要

3

当社株式の取扱いの見通し

4

参考資料

# 会社概要 (2015年6月30日現在)

会社名	リアルコム株式会社 (英語表記: REALCOM INC.)
代表者	龍 潤生
設立	2000年 (平成12年) 4月17日
上場	2007年 (平成19年) 9月19日
資本金	6億5,568万円
主要取引銀行	三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行
役職員	21名 (非常勤役員4名含) ※WWB株式会社: 44名 (非常勤役員2名含)
グループ会社	連結子会社: WWB株式会社 東北サイエンス株式会社 持分法適用会社: 常陽パワー株式会社 東北エネテックス株式会社 東陽パワー株式会社
事業内容	(リアルコム株式会社) ソフトウェアライセンス販売、システム構築、その他付帯サービス事業、太陽光発電システム保守メンテナンス事業 (WWB株式会社) 太陽光発電システムの仕入・販売事業、太陽光発電システム設置工事請負事業、建設機械の仕入・販売・レンタル事業
URL	<a href="http://www.realcom-inc.com">www.realcom-inc.com</a>

